

街のあかりを
仲間と支える

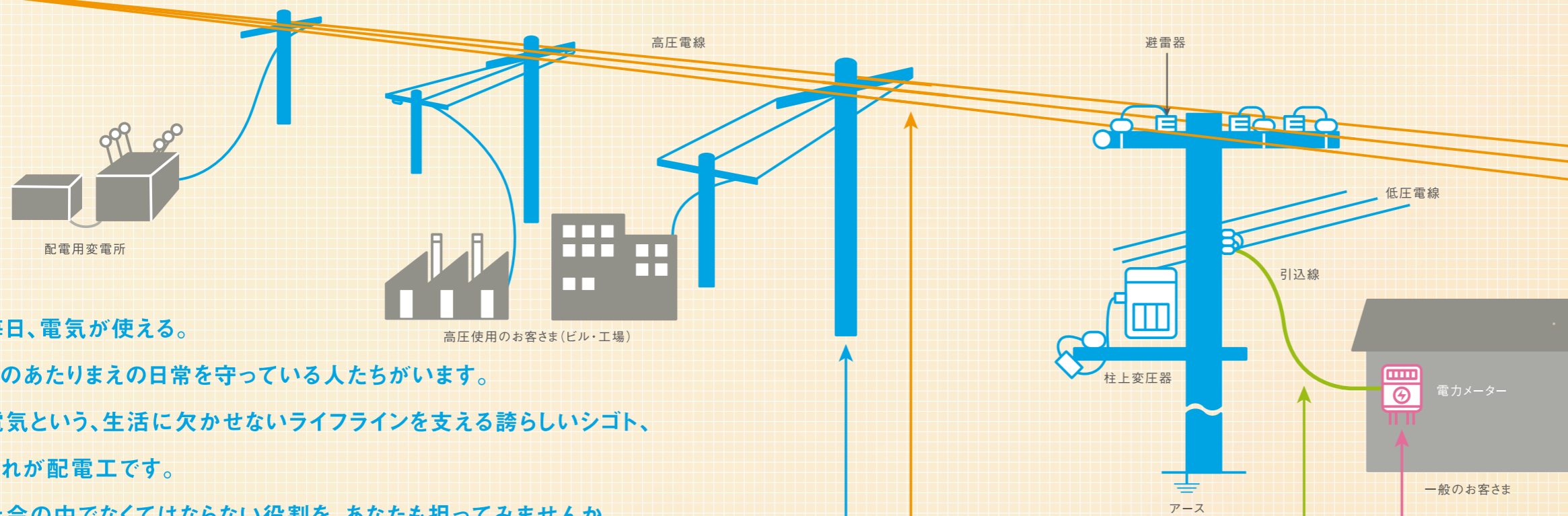
配電工職 WORK GUIDE

【お問い合わせ先】



配電工は「人々の日常」を守る

街に電気を届ける誇らしいシゴト



毎日、電気が使える。

このあたりまえの日常を守っている人たちがいます。

電気という、生活に欠かせないライフラインを支える誇らしいシゴト、それが配電工です。

社会の中でなくてはならない役割を、あなたも担ってみませんか。



災害復旧

台風などの自然災害によって、電気設備に不良が生じた際に、速やかに復旧する必要があります。24時間365日いつでも現場に駆けつけ、1分1秒でも早く正常な状態に戻します。

仕事フィールド

建柱工事

▶ PAGE_03

電気を送るために必要な電線や機器を支える電柱にかかわる仕事をしています。新たに電柱を建てる、古くなった電柱を建て替えるなどの工事を行います。



外線工事

▶ PAGE_05

家庭や商店などへ電気を送る電柱に取り付けられている電線や機器などにかかわる仕事をしています。電柱に新しく電線や機器を取り付ける、古くなった電線や機器を取り替えるなどの工事を行います。



引込線工事

▶ PAGE_07

電柱に取り付けされた電線や機器と建物をつなぎ、各家庭などへ電気を届ける引込線にかかわる仕事をしています。新築された建物へ引込線を取り付ける、古くなった引込線を取り替えるなどの工事を行います。



計器工事

▶ PAGE_08

電気の使用量を計量する電力メーターにかかわる仕事をしています。新築された建物へ電力メーターを取り付ける、古くなった電力メーターを取り替えるなどの工事を行います。



WORK FIELD 1
建柱工事

明かりを支える
基礎を築く



WORK | 業務内容 |

電柱の新たな建設や建て替えを行う。

建柱車やミニバックホーといった特殊な作業車や機器を用いて、地面に穴を掘り、電柱を建てます。今では、古くなった電柱を新しいものに建て替えるケースが多くなっていますが、電柱の建て替えの際は、新しい電柱を建てた後に外線工事で電線や機器を移してから、古い電柱を抜くなどの作業を行います。

VOICE | 先輩社員メッセージ |

浜中電気土木株式会社
山本 翔太



動画公開中!



「街づくり」に
携わっている実感が持てる。

電気というライフラインを支えることで、多くの人に快適な暮らしを提供したいという想いから、この仕事を選びました。最初は覚えることが多いですが、自分のペースで仕事を覚えていけば技術も自然と身に付きます。子どもの頃からよく知っている街を担当しているので、建柱を通して自分も「街づくり」に携わっているという実感が持てるところが魅力です。

ITEM | 機材&工具 |



建柱車

電柱を建てるために使用します。クレーンの先端に取り付けたドリル「アースオーガ」で電柱を建てる穴を掘って、クレーン先端のウインチで電柱を吊り上げて電柱を建てます。

スーパーモービル

ハイパワーの吸引ポンプで土砂を吸い上げながら掘り進めるため、地下埋設物(上下水道管、ガス管など)を損傷させることなく電柱を建てる穴を掘ることができ、従来は人力で掘っていた場所でも機械化により疲労を軽減しています。



ミニバックホー・
ミニアースオーガ

建柱車が使用できない山間部や狭い場所で、アームの先端に取り付けたバケットやドリル「ミニアースオーガ」で電柱を建てる穴を掘ることができ、従来は人力で掘っていた場所でも機械化により労力を軽減しています。



WORK FIELD 2
外線工事



街の明かりを、
安心を、繋ぐ



WORK | 業務内容 |

電線・変圧器などの取り付け・取り替えを担う。

電柱に電線を止める金具や変圧器などの機器を取り付け、電線を正しく配線します。電柱を建て替える際は、それらの電線や機器を古い電柱から新しく建てた電柱へ移します。電柱の上での作業は高所作業車を使用したり、電柱に直接登って作業を行います。

VOICE | 先輩社員メッセージ |

有限会社玉川電工
徳生 諭



動画公開中!



作業をやり遂げた
時の達成感が大きい。

入社当初はできる仕事に限られていましたが、経験を積んで資格を取得することで担当業務も増え、仕事のおもしろさを感じています。外線工事は、限られた停電時間中に必ず作業を終えなければならないので、プレッシャーもありますが、その分やり遂げた時の達成感は大きいです。今後は高压の電気が扱える資格を取得し、さらに業務の幅を広げていきたいと思っています。

ITEM | 機材&工具 |



高所作業車

電柱の上部で作業をするために使用します。トラックに取り付けられた昇降する箱型のバケットに乗り込み、電柱に様々な機器や金物を取り付けたり電線を張ったりします。



間接活線工具

電気の流れている電線を工事するために使用します。電線に直接手を触れず工事できることから、感電のリスクがなく安全に作業ができる工具です。

延線車

電線を張る作業をするために使用します。トラックに取り付けられた巻取り装置で電線を引っ張ることができ、一度に長い距離の電線を張ることができます。



アクティブパッド

IoTやICT技術を活用し、日常の作業を効率的に行なったり、災害復旧時の情報共有などをすることができるタブレット端末です。



お客さまに
暮らしの明かりを、
届ける



WORK FIELD 3

引込線工事

WORK | 業務内容 |

引込線の取り付け・取り替えを行う。

電柱とお客さま宅を繋ぐ引込線と呼ばれる電線を取り付けたり、古くなった引込線を取り替えたりする仕事です。引込線はいわばお客さま専用の電線で、一軒一軒現場の状況が異なり、配線に不備があるとお客さまにご迷惑をおかけするため、一つひとつの工程においてしっかり確認しながら作業を行います。

WORK FIELD 4

計器工事

WORK | 業務内容 |

電力メーターの取り付け・取り替えを行う。

お客さまの電気の使用量を計測する電力メーターの取り付けや使用期限を迎える電力メーターの取り替えを行います。電力メーターはすべて同じに見えますが、お客さまごとに決められたものを取り付けなくてはならないため、工事の際には確認を重ねて間違いのないよう丁寧に作業を行います。

ITEM | 機材&工具 |



絶縁トルクドライバー

電力メーターに電線を取り付けするために使用します。先端以外が絶縁されたドライバーで電線をネジ止めするときに、一定の力でネジの締め付けを行うことができます。

検済モバイル

電力メーターを取替するときに、作業に関する情報の確認や作業の完了手続きを現場で行うことができるタブレット端末です。



VOICE | 先輩社員メッセージ |

亀田電工株式会社
大平 一仁



動画公開中!

お客さまからいただく
感謝の言葉が原動力。



知人宅に雷が落ち、その復旧に来ていた姿を見て、配電工職を知りました。体力に自信があり、高い所も得意なので、自分に合っていると思って志望しました。引込線・計器工事はお客さまと直接接する機会が多く、「ありがとう」という言葉をかけていただけるのでやりがいを感じます。現場では厳しいものの、仕事を終えて事務所に戻ると、雑談や冗談が飛び交う明るい雰囲気の職場です。

お客さまの
日常を、
守る



声

をかけあって 無事故を貫く

電気にかかわる配電工の仕事は、安全が第一。決して事故を起こさないよう、お互いに声をかけあいます。

部活の試合 のような結束

同じ目標に向かって、ともに汗を流す。配電工の仕事は、部活の試合の醍醐味と共通するものがあります。



正確な作業は 呼吸を合わせる ことから

仲間とは普段から密にコミュニケーションをとっています。だから、大事な作業のときには息もぴったり合います。

配電工職にとって 大切なこと

電力という、生活に欠かせないライフラインを担う配電工職だからこそ、大切にしなければならないことがあります。

各ポジションで 全力を尽くす

高所作業をする者、それをサポートする者…。それぞれが与えられた役割をしっかりと果たすのが、プロです。



四国電力送配電とも しっかり関係プレー

四国の電力供給を担う四国電力送配電との関係も欠かせません。計画された配電設備の設計プランをカタチにするのが、配電工の仕事です。

先輩から 後輩へ スキルを 伝承

経験の浅い配電工にとっては、毎日が勉強の場。日々の業務を通して、先輩が持つ豊富な現場スキルを学びます。

配電工を育てるための 充実した技術研修

必要な知識や技術は、(株)四電工で開催する研修や現場作業で先輩の補助をしながら学んで身につけるとともに、一定の経験を積んで必要な社内資格を習得することで、より高度で重要な作業や役割を担うことができるようになっていきます。また、安全に関しては、高い場所で高電圧の電線や重い機材などを扱う仕事をするため、徹底して教育をしています。



安全に関する教育の一環として、実際に起きた事象を再現したりVR技術を取り入れたりといった、体験・体感型の教育を行っています。

配電工職 Q&A

Q. 配電工職ってどんな仕事ですか？

A. 一般家庭や工場などに電気を供給するために、電柱や電線などの設備を建設・改修する仕事です。地域へ安定的に電気を送り届けるためのライフラインを守ること、住民の皆さまの暮らしや社会に貢献できる大切な仕事です。

Q. 電気の専門知識や資格を持っていませんが、大丈夫ですか？

A. 必要な知識や資格は、現場の補助作業を通して学ぶとともに、経験年数に応じて(株)四電工が開催する集合教育などで身につけていきます。電気の資格についても入社後に取得できますので、知識や資格がなくても全く問題ありません。

Q. 肉体的にキツイ仕事ですか？

A. 配電工職の仕事はラクではありません。暑いときも寒いときも作業はありますし、力仕事も多いです。また、台風等の自然災害発生時には、昼夜関係なく復旧作業に携わることもあります。しかし、地域の電気を守ることは、住民の皆さまの暮らしを守ることにつながり、達成感、やりがいを感じる仕事です。

Q. 将来的にも継続性のある仕事ですか？

A. 四国内には多数の電柱や電線が設置されており、定期的な取替や改修が必要となります。電力インフラの維持は、住民の皆さまの暮らしを守るために重要な仕事なので、配電工職として学んだ技術は、将来にわたって必要とされます。